



ハオハオ! (好好)



No.34

はまぐち のりこ

みんなへ 3.11 今日考えたいこと

平成23年(2011年)3月11日、午後2時46分。

東北地方太平洋沖で大きな地震が起きました。みんなも知っていると思いますが、大地震の後に大津波が押し寄せ、たくさんの人たちが津波にのまれて命を落としました。この大きな地震と大津波による災害を「東日本大震災」といいます。そして今日は「東日本大震災」から13年たった日です。



新聞やニュースでは、今日現在、死亡された人は15900人、行方不明の人は2520人、関連死された人は3802人と発表されています。また、被害に遭われた人のうち、約29000人が地元や全国各地で避難生活を続けています。三重県にも移り住んでおられる人たちがいます。

あの日、学校に元気に送り出した小学生の子どもが、津波にのまれてしまったお父さんやお母さんがいます。たった一人の親を亡くした小学生、昼ごはんの時に、メールをやりとりした家族や友だちを亡くした人もいます。家族みんなが亡くなって、一人ぼっちになってしまった人もいます。たくさんの人たちが、それぞれに、どれほどつらい13年を過ごしてみえたのだらうと思います。

あらためて、22000人以上の犠牲になられた人の命の重さを痛感します。

また、私たちは、助かった人たちが深い悲しみの中から力を振り絞って立ち上がり、亡くなられた人の分も強く生きなければと前に進んでおられることを知っていなければなりません。夢に向かって勉強し、人の役に立ちたいと救命の仕事に就かれています人もいます。震災の年に生まれた子どもたちも中学生です。命の大切さを誰よりも感じながら育ってきたのだと思います。

今年1月1日には能登半島地震が発生しました。東日本大震災で被害に遭われた人も恩返しをしたいと支援活動に入っておられるそうです。今も能登では復興に向けて様々な取組が進んでいます。体育館が避難所になっている中学校では、卒業式が美術室で行われたところもあったとニュースで放送されていました。

そして、今を精いっぱい生きている修道小の私たちも、今日を新しい区切りとして、「生きること」をもっと大事にしていきたいと思います。防災の準備についてはもちろん確かめなければなりません。もう一つみんなにしてほしいことがあります。それは、当たり前前に過ごしてきた毎日を振り返って、「やるべきときにやるべきことをやってきたかな?」「友だちや家族を大切にしてきたかな?」などと自分自身に問いかけることです。今日という日を「私たちの周りには、たくさんの人のおかげでできている『当たり前』がいっぱいあるなあ。」と考える日にしてくれるとうれしいです。

3月19日 卒業式を前に

卒業式練習が始まりました。卒業式は学校行事の中で最も大切な儀式です。小学校での学びを終えて巣立とうとしている6年生。卒業証書を受け取る練習風景も真剣です。今週は仕上げの週。体調を整えて本番を迎えてほしいです。



卒業文集作成中!

今までありがとうございました
中学校でも元気でいください



2クラス合同でドッジボール大会

1年間の「まとめ」の授業中

5年生の算数



2年生の国語



1~5年生の各学年の教科学習もまとめの時期に入りました。今年度のクラスの仲間と授業を受けるのもあと7日です。

どの学年の授業も次の学年の学びにつながるようさらに丁寧に進められています。感心するのはやはり「聞く姿勢」です。そしてノートづくりも大切にされています。ノートをのぞいて、「濃く、丁寧に書いているね!」と声をかけています。この1年間で「学ぶ姿勢」がよくなった子どもたちがたくさんいます。



3年生の理科



学校 HP